

お知らせ

◎ 平成24年度第4回学術講演会

日 時：平成24年7月21日（土）P.M.2：00～4：00

※第3土曜日の開催となっております。

場 所：ホテルアイボリー オーキッドホール

※今回より会場が変更になりました。

共 催：（一社）豊中市医師会、バイエル薬品（株）

演 題：「脳卒中再発予防の最前線と地域連携」

講 師：国立循環器病研究センター 脳神経内科部長 長東 一行 先生

座 長：豊中市医師会 学術生涯教育委員会委員 伊藤 直人 先生

【講演要旨】

脳卒中再発予防に関しては病型診断が最も重要で、病型に合わせた再発予防法を選択し継続してゆくことが必要です。非弁膜症性心房細動に伴う心原性脳塞栓症の再発予防には抗凝固療法が必須です。これまでワーファリンしかありませんでしたが、最近新抗凝固薬が新たに2種類使えるようになり、抗凝固療法が比較的簡単に行えるようになってきました。ただし新抗凝固薬も適応や使い方を誤ると重大な副作用を起こす可能性があります。二次予防の場合は急性期病院で抗凝固薬が選択されて、かかりつけ医の先生に紹介される場合が多いので、そのまま継続していただくのが基本ですがそれぞれの薬剤の特徴や投薬中の注意点をよく理解していただく必要があります。

アテローム血栓性脳梗塞は抗血小板剤が適応となります。抗血小板剤も大きく分けて3種類の選択肢があり、併用が行われる場合もあります。抗血栓薬の併用は出血のリスクを確実に上昇させるので避けたいのですが、やむを得ない場合もあり、このような症例では血圧コントロールが特に重要です。

ラクナ梗塞に対しては抗血小板剤が比較的安易に投与されていますが、効果については明らかなエビデンスは少なく注意が必要です。

最後に脳卒中連携パスがかかりつけ医の先生方まで広がり、保険点数も加算されることになりましたので、その説明をさせていただく予定です。

（檀上）

◎ 第27回豊中糖尿病勉強会

日 時：平成24年6月16日（土）P.M.2：30～

場 所：市立豊中病院 管理棟5階 講堂

共 催：（一社）豊中市医師会、豊中糖尿病勉強会、アステラス製薬(株)

内 容：〈製品紹介〉

「カデュエット配合錠」について アステラス製薬株式会社

【講演1】P.M.2：30～

演 題：「糖尿病性壊疽について」

講 師：市立豊中病院 皮膚科部長 倉知 貴志郎 先生

座 長 澤村内科 院長 澤村 昭彦 先生

【講演2】P.M.3：00～

演 題：「これなら簡単今すぐできる外来インスリン導入」

講 師：東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌科

教授 弘世 貴久 先生

座 長：市立豊中病院顧問、大阪国際空港メディカルセンター

所長 松山 辰男 先生

【閉会の辞】

市立豊中病院 糖尿病センター長 嶺尾 郁夫 先生

※本会は大阪府医師会生涯研修申請中です。

(檀上)

◎ 第48回豊中消化器病懇話会

日 時：平成24年 6月23日（土）P.M.4：00～5：30

場 所：市立豊中病院 1階健康教室（健康教室棟）

共 催：（一社）豊中市医師会、豊中消化器病懇話会、エーザイ（株）

取得単位：日本医師会生涯教育制度1.5単位申請中

（カリキュラムコード13、50、53）

プログラム

P.M.4：00～4:15

◆情報提供『分割投与可能なパリエットの有用性について』

エーザイ株式会社 吉永 太一

P.M.4：15～5：00

◆症例呈示 座長：市立豊中病院 消化器内科 稲田 正己 先生

①『虫垂原発印環細胞癌の1例』

市立豊中病院 消化器外科 亀山 亨 先生

②『下部食道狭窄を合併した高度進行胃癌に対する逆流防止弁付き食道ステントの使用経験』

市立豊中病院 消化器内科 神下 真慶 先生

P.M.5：00～5：30

◆話題提供 座長：阪本胃腸・外科クリニック 阪本 康夫 先生

『胃がんの外科治療－最新の臨床試験から－』

市立豊中病院 消化器外科 藤田 淳也 先生

※本会は「大阪府医師会生涯研修システム登録研修会」です。

連絡先：豊中消化器病懇話会

市立豊中病院 消化器内科 稲田 正己 TEL06（6843）0101

◎ 第26回国立循環器病研究センター 循環器病談話会

日 時：平成24年7月7日（土）P.M.2：00～5：00

場 所：国立循環器病研究センター 図書館講堂

参加費：無料

※本談話会は、大阪府医師会・兵庫県医師会の生涯研修単位（申請中）ならびに日本内科学会内科専門医の単位として認定されています。

プログラム

『主訴から考える循環器疾患』

開会の挨拶 国立循環器病研究センター 理事長 橋本 信夫

第1部（P.M.2：05～3：25）

座 長：心臓血管内科 安田 聡

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ①胸痛 | 心臓血管内科 | 石原 正治 |
| ②動悸 | 心臓血管内科 | 山田 優子 |
| ③息切れ | 心臓血管内科 | 安斉 俊久 |
| ④下肢の痛み | 心臓血管内科 | 河原田 修身 |

休憩（P.M.3：25～3：40）

第2部（P.M.3：40～4：50）

座長：脳神経内科 長東 一行

- | | | |
|-----------------|---------|--------|
| ⑤めまい | 脳神経内科 | 宮下 光太郎 |
| ⑥しびれ・脱力・（失神） | 脳神経内科 | 有廣 昇司 |
| ⑦頭痛 | 脳神経内科 | 片岡 大治 |
| ⑧専門医療連携室からのお知らせ | 専門医療連携室 | 長東 一行 |

閉会の挨拶 病院長 内藤 博昭

◎ 休日急病診療所出務医一覧（平成24年8・9・10・11月分）

いつもながら先生方には地域医療活動に格別のご協力を賜りありがとうございます。

さて、平成24年8・9・10・11月分の休日等急病診療出務医師輪番表が決定いたしましたので、お知らせします。なお、ご都合の悪い場合は1カ月前までに、豊中市医療保健センター診療所（TEL06-6848-1661）までご連絡ください。

（鈴木（秀））

休日等急病診療出務医師輪番予定表

（平日24年8月～24年11月）

区分 月日		休日急病診療			
		医療保健センター診療所		庄内保健センター診療所	
		「10：00～17：00」		「10：00～17：00」	
8	5	鳥邊 博正	豊川 奉	津嶋 博史	上野 博久
	12	鳥邊 泰久	山本 浩	城 雄幸	黒川 順夫
	14	別途募集			
	15				
	19	藤川 泰弘	肥塚 正宏	西原 久豊	藤原 耕三
	26	仁科 昌久	澤村 昭彦	森定 伸充	藤戸 努
9	2	鈴木 秀和	永谷 憲歳	吉田 悟	木村 亮
	9	川口 悟	藤井 一史	仁科 昌久	雨森 明
	16	金山 英子	畑 明	任 太性	澤木 政光
	17	津嶋 博史	加地 到	谷野 桂子	坂上 憲生
	22	小林 隆一	辻橋 宏典	橋中 善明	松本太一三
	23	森定 伸充	南 武志	金田 正興	住田 竹男
	30	佐野 博彦	北原 健志	山本清一郎	松下 幸司
10	7	鳥邊 博正	多谷 洋	酒井 修	山本 浩
	8	藤川 泰弘	智片 英治	福岡 徳生	村上 満彦
	14	鳥邊 泰久	上野 博久	吉田 悟	北島 伸
	21	間 敦子	豊川 奉	高橋 教雄	丸井 清高
	28	東出 崇	宮沢 功	城 雄幸	山口 正信
11	3	山本清一郎	藤戸 努	小林 隆一	奥村 幸康
	4	仁科 昌久	藤井 一史	金田 正興	黒川 順夫
	11	地寄 剛史	加地 到	橋中 善明	清本 徹馬
	18	難波 直樹	永谷 憲歳	森定 伸充	山本 貴洋
	23	金山 英子	島越由起子	任 太性	畑 明
	25	有瀧健太郎	吉岡 博昭	吉田 悟	北原 健志

◎ 市立豊中病院ならびに刀根山病院外来診療担当表（6月分）

○ 市立豊中病院外来診療スケジュール

* 午前の診療では初診および再診（予約・予約外）の方を受け付けます。

	診察室	月	火	水	木	金	
内科	1	午前（初診）	初診 （稲田正己）	初診 （武弘典）	初診 （阿部欣也）	初診 （嶺尾郁夫）	初診 （小杉智）
		午後				循環器 （高陽子）	循環器 （福岡秀忠）
	2	午前（初診）	初診 （福永恵）	初診 （福井浩司）	初診 （山本/高木）	初診 （渋谷充彦）	初診 （市場誠）
		午後		血液 （大西麻由）		糖尿病相談	腎臓 （林大祐）
	4	午前（再診のみ）	呼吸器 （阿部欣也）	血液 （片桐修一）	血液 （武弘典）	血液 （小杉智）	血液 （片桐修一）
		午後（予約のみ）	血液 （武弘典）	血液 （小杉智）	呼吸器 （大谷安司）	呼吸器 （阿部欣也）	血液 （中田壮一）
	5	午前（再診のみ）	糖尿 （嶺尾郁夫）	糖尿 （嶺尾郁夫）	糖尿 （岡内幸義）	糖尿 （末原節代）	呼吸器 （大谷安司）
		午後（予約のみ）	糖尿 （末原節代）	呼吸器 （寺田晴子）	思春期糖尿 （末原節代）	血液 （本田亨）	
	7	午前（再診のみ）		腎臓 （福永恵）		腎臓 （福永恵）	糖尿 （岡内幸義）
		午後（予約のみ）	腎臓 （林大祐）	腎臓 （福永恵）		腎臓 （中田夕香子）	糖尿 （石橋千咲）
8	午前（再診のみ）	血液 （本田亨）	消化器 （神下真慶）	血液 （中田壮一）	消化器 （高橋啓）	交代制 （肝・胆）	
	午後（予約のみ）	血液 （小澤孝幸）	消化器 （山本政司）		呼吸器 （寺田晴子）		
9	午前（再診のみ）	消化器 （市場誠）	消化器 （林史郎）	消化器 （山本政司）	消化器 （山本克己）	消化器 （澁谷充彦）	
	午後（予約のみ）	消化器 （澁谷充彦）		消化器 （市場誠）	消化器 （山本克己）	消化器 （山本克己）	
10	午前（再診のみ）	消化器 （福井浩司）	消化器 （稲田正己）	消化器 （福井浩司）	消化器 （稲田正己）	消化器 （高木邦夫）	
	午後（予約のみ）	消化器 （近藤尚）	消化器 （高木邦夫）	消化器 （澤村真理子）	消化器 （稲田正己）	消化器 （林史郎）	
循環器科	6	午前	循環器 （有田幸生）	循環器 （宮岡宏治）	循環器 （中川理）	循環器 （松本悟）	循環器 （中川理）
		午後（予約のみ）	循環器 （有田幸生）	循環器 （宮岡宏治）	循環器 （中川理）	循環器 （松本悟）	循環器 （築山真希）
7	午前（初診）			ベースメーカー外来 （宮岡宏治）			
	午後（予約のみ）						
神経内科	3	午前	中野美佐	巽千賀夫	仲谷利栄 ^{※1} 川崎裕子	森谷真之	那波一郎
		午後（予約のみ）	森谷真之	中野美佐	川崎裕子 ^{※1} 仲谷利栄		巽千賀夫
精神科	1	午前（予約のみ）		初再診 （徳山まどか）	特殊外来 （徳山まどか）	初診 （交代制）	
		午後（予約のみ）					
	2	午前（予約のみ）	もの忘れ看護相談	大西友佑子	初診（大西友佑子）	大西友佑子	
		午後（予約のみ）	もの忘れ看護相談	もの忘れ看護相談	もの忘れ看護相談	もの忘れ看護相談	
心理	（予約のみ）	○	○	○	○	○	
入院外来		初再診	初再診	再診	再診	初再診	
小児科	1	午前	川上展弘	吉川真紀子	松岡太郎	徳永康行	茶山公祐
		午後（予約のみ）	神経発達 （松岡太郎）	神経発達 （松岡太郎）	小児内分泌 （三善/橘）	小児科血液 （茶山公祐）	
	2	午前	木村丈	交代	渡辺陽和	五十嵐岳宏	横井健人
		午後（予約のみ）		未熟児 （徳永康行）	アレルギー （吉川真紀子）	心臓 （川上展弘）	
3	午前						
	午後（予約のみ）		フォローアップ			※5	
4	午後（予約のみ）					乳児健診 （健診センター）	
泌尿器科	1	午前	目黒則男 （予約のみ）	交代 （予約のみ）	目黒則男 （予約のみ）	交代 （予約のみ）	木内利郎 （予約のみ）
		午後（予約のみ）	岡田統一 （ストマ外来）		腫瘍外来 （目黒則男）		結石外来 （木内利郎）
	2	午前	今津哲史 （予約のみ）	中村 （初再診）	向井雅俊 （予約のみ）	交代 （初診紹介のみ）	中山治郎 （予約のみ）
		午後（予約のみ）	前立腺 （今津哲史）		向井雅俊 （予約のみ）		排尿性機能 （中山治郎）
3	午前	中山治郎（初再診）		今津哲史（初再診）		向井雅俊（初再診）	
	午後	稲垣裕介（ストマ外来）					
手術日	午前		○			○	
	午後		○			○	

※1 内科水曜2診 初診 山本/高木は、第1・3・5週が山本克己、第2・4週が高木邦夫
 ※2 内科月曜7診 循環器科初診 中川/松本は、第1・3・5週が中川理、第2・4週が松本悟
 ※3 内科水曜7診 循環器科ベースメーカー外来は、第1・3週の予約制
 ※4 神経内科水曜3診 午前は第1・3・5週が仲谷利栄、第2・4週が川崎裕子、午後は第1・3・5週が川崎裕子、第2・4週が仲谷利栄
 ※5 小児科金曜3診 午後のシナジス外来は、6月～8月まで休診

*午後の診療はすべて予約となります。

	診察室		月	火	水	木	金
外科	1	午前	乳腺・内分泌 (北田昌之) 予約のみ		乳腺・内分泌 (大島一輝)	乳腺・内分泌 (北田昌之) 再診のみ	肝・胆・膵 (野田剛広)
		午後 (予約のみ)	乳腺生検		乳腺・内分泌 (赤木謙三)		肝・胆・膵 (野田剛広)
	2	午前	大腸・肛門 (森田俊治)		胃腸 (藤田淳也)		
		午後 (予約のみ)	大腸・肛門 (森田俊治)		胃腸 (藤田淳也)		乳腺・内分泌 (大島一輝)
	3	午前	乳腺・内分泌 (赤木謙三)	一般・初診	肝・胆・膵 (堂野恵三)	一般・初診	大腸専門外来
		午後 (予約のみ)	大腸・肛門 (畑泰司)	大腸化学療法	肝・胆・膵 (堂野恵三)		大腸化学療法 (畑泰司)
	4	午前	胃腸・食道 (川西賢秀)	リンパ浮腫 外来	肺・食道胃 岩澤卓		乳腺・内分泌 (赤木謙三)
		午後 (予約のみ)	胃腸・食道 (川西賢秀)	リンパ浮腫 外来	小児外科		乳腺・内分泌 (赤木謙三)
	5	午前	一般・初診 (三宅正和)	ストマ外来	一般・初診	ストマ外来	一般・初診
		午後	大腸・肛門 (三宅正和)	乳腺生検	肺・食道胃 岩澤卓	乳腺生検	乳腺検査
外来化学療法	午後	○	○	○	○	○	
手術日	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○		○	○	
心臓血管外科	1	午前		心臓血管外科 (藤村博信)			
		午後 (予約のみ)		心臓血管外科 (藤村博信)		心臓血管外科 (堀口敬)	
	2	午前				心臓血管外科 (藤村博信)	
		午後 (予約のみ)				心臓血管外科 (藤村博信)	
手術及び 検査日	午前	手術	検査	手術	検査	手術	
	午後	手術	検査	手術	検査	手術	
整形外科	1	午前	初再診1 (山本浩司)	初再診1 (田村裕一)	初再診1 (佐藤 巖)	初診・紹介のみ (交代制)	初再診1 (三山崇英)
		午後 (予約のみ)		専門外来・関節外科 (李 勝博)	専門外来・脊椎 (佐藤 巖)	専門外来・スポーツ (三山崇英)	専門外来 骨・関節
	2	午前	初再診2 (岡本道雄)	初再診2 (水野直子)	初再診2 (信貴厚生)		初再診2 (難波二郎)
		午後 (予約のみ)	専門外来・手 (岡本道雄)	予約診 (水野直子)	予約診 (信貴厚生)	専門外来・スポーツ・肩 (水野直子)	
	3	午前	初再診3 (吉田礼徳)	初再診/交代・火 (交代制)	専門外来・手 (難波二郎)		初再診3 (北口和真)
		午後 (予約のみ)	専門外来・膝・関節 (吉田礼徳)	予約診 (交代制)	専門外来・手 (山本浩司)		予約診 (北口和真)
	4	午前	初再診/交代・月 (交代制)	予約診 (山本浩司)	専門外来・脊椎 (田村裕一)		予約診 (吉田礼徳)
		午後 (予約のみ)	予約診 (交代制)	予約診 (難波二郎)			専門外来 リウマチ
	5	午前		予約診 (岡本道雄)	初再診 (高橋和孝)		予約診 (佐藤 巖)
		午後 (予約のみ)	専門外来・関節外科 (李 勝博)	予約診 (三山崇英)	予約診 (高橋和孝)		予約診 (田村裕一)
	処置・投薬		処置・投薬 (交代制)	処置・投薬 (交代制)	処置・投薬 (交代制)		処置・投薬 (交代制)
	手術日及び ギブス室	午前	手術	手術・装具	手術	手術	手術
午後		手術	手術・装具	手術	手術	手術・装具	
脳神経外科	1	午前	西尾雅実	(紹介のみ)	佐藤雅春	宮崎裕子	(紹介のみ)
		午後 (予約のみ)	脳腫瘍外来2		脳腫瘍外来1		
手術日	午前		○			○	
	午後		○			○	
皮膚科	1	午前	倉知貴志郎	倉知貴志郎	初診紹介/患者のみ	早石祥子	近藤由佳理
		午後 (予約のみ)	検査	手術	手術	検査	検査
	2	午前	近藤由佳理	早石祥子	手術	田中文	早石祥子
		午後 (予約のみ)	検査	手術	手術	検査	検査
	3	午前				近藤由佳理	
処置室	午後 (予約のみ)				フットウェア外来/ フットケア外来 (隔週)		
手術日	午前			○			
	午後		○	○			
リハビリ	1	午前	李勝博	整形外科交代	巽千賀夫	李勝博	森谷真之
放射線科	1	午前	再診 (安西誠)	初診・再診 (鈴木修)	再診 (玉利慶介)	初診・再診 (平田岳郎)	初診・再診 (藤原聖輝)
		午後					

※6 整形外科の専門外来は予約制

*このスケジュールは予定ですので、臨時に変更することがあります。

診察室		月	火	水	木	金	
産婦人科	初診 (初診は紹介のみ) 予約なし	交代	交代		交代	交代	
	婦人科	午前 (予約のみ)	塩路光徳	佐藤紀子		徳平 厚	辻江智子
		午後 (予約のみ)	米田佳代	小和貴雄		藤谷真弓	蒲池圭一
	産科Ⅰ	午前 (予約のみ)	辻江智子	李享相	専門外来	高橋佳世子	高橋佳世子
		午後 (予約のみ)	佐藤紀子	超音波外来		李享相	
	産科Ⅱ	午前 (予約のみ)	小和貴雄	藤谷真弓		米田佳代	
		午後 (予約のみ)				蒲池圭一	
	助産師外来	○	○	○	○	○	
	授乳相談外来	○	○	○	○	○	
	検査日	午後	○	○			
手術日	午前			○		○	
	午後			○		○	
眼科	1	午前	予約診 (宮本)	初診・予約外 (佐柳香織)	初診・予約外 (伊藤真理子)	初診・予約外 (山中栄未子)	予約診 1
		午後 (予約のみ)	佐柳香織	特殊診		特殊診	佐柳香織
	2	午前 (予約のみ)	山中栄未子	伊藤真理子	山中栄未子	伊藤真理子	佐柳香織
		午後 (予約のみ)				伊藤真理子	
	3	午前	予約診	予約診	予約診	予約診	予約診
		午後		予約診	予約診	予約診	
	手術日	午前	○		○		○
		午後	○		○		○
耳鼻咽喉科	1	午前	点滴 (予約のみ)	三谷健二	山本圭介	三谷健二	点滴 (予約のみ)
		午後		三谷健二	頭頸部腫瘍 (三谷健二)	三谷健二	
	2	午前		佐々木崇博	佐々木崇博	山本圭介	
	3	午前 (予約のみ)		河野香南子	予約診	河野香南子	
	予約診専門外来	午後 (予約のみ)		予約診 (山本圭介)			
	手術日	午前	○				○
午後		○				○	
歯科・歯科口腔外科	1	午前	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸
		午後 (予約のみ)	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸	高瀬俊幸
	2	午前	益山純一	益山純一	益山純一 ^{*5}	益山純一	益山純一
		午後 (予約のみ)		益山純一	顎関節 (益山純一)	益山純一	益山純一
	3	午前	金崎朋彦	金崎朋彦	金崎朋彦 (隔週)	金崎朋彦	
		午後 (予約のみ)		金崎朋彦	金崎朋彦	インプラント外来 (金崎朋彦)	金崎朋彦
手術日	午前					○	
	午後	○				○	
麻酔科	1	午前	術前診察		術前診察		術前診察
		午後					
2	午前	ペインクリニック ^{*6} (真下節)				ペインクリニック (二宮真理恵)	
	午後						
緩和ケア (麻酔科外来にて)	1	午後	緩和ケア外来 (交代制)	緩和ケア外来 (交代制)	緩和ケア外来 (交代制)	緩和ケア外来 (交代制)	

※7 歯科：水曜AM 2診 益山純一 第2水曜日のみ午休診

※8 麻酔科：金曜AM 2診 ペインクリニックは新たな初診患者様の受付は出来ません。

◆耳鼻いんこう科	月・金曜日は診察を行っておりません。
◆産婦人科	婦人科は紹介状をお持ちの方のみの診察となります。 水曜日は予約患者様のみの診察となります。
◆眼科	月・金曜日は紹介状持参の初診患者様のみの診察となります。
◆皮膚科	水曜日は紹介状持参の初診患者様のみの診察となります。
◆整形外科	水曜日は紹介状持参の初診患者様のみの診察となります。
◆泌尿器科	木曜日は紹介状持参の初診患者様のみの診察となります。
◆精神科	予約患者様のみの診療となります。

循環器科ダイレクトコール (090-1446-2579)

脳卒中センターダイレクトコール (090-7114-6759)

地域医療室直通電話 (06-6858-3597)

○ 刀根山病院外来診療スケジュール

平成24年6月1日～

内線	診療科	曜日					
		診療室	月	火	水	木	金
2205	呼吸器内科 (初診)	呼吸器科一診 (2206)	*前倉 亮治 *岡田 達也	*三木 真理 *新中 学	*横田総一郎 *北田 清悟	*森 雅秀 *矢野 幸洋	*山口 俊彦 *好村 研二
		呼吸器科二診 (2216)	*米田 勉 *立石 善隆	*木村 裕美 *香川 浩之	*三木 啓資 *中澤 幸恵	*玄山 宗到 *松井 秀記	*橋本 尚子 *灘波 良信
2371	結核外来	結核一診	*山口 俊彦 *新中 学	*矢野 幸洋 *三木 真理	*藤川 健弥	*難波 良信、 *木村 裕美 *米田 勉	*北田 清悟、 *藤川 健弥 *橋本 尚子
		結核二診	*立石 善隆 *松井 秀記		*岡田 達也		*玄山 宗到
2207	呼吸不全	呼吸器外科二診 (2209)		*三木 啓資 *前倉 亮治 *好村 研二 *松井 秀記			
2200	呼吸器内科 呼吸器腫瘍内科	内科一診 (2201)	横田 総一郎	山口 俊彦	森 雅秀	岡田 達也	木村 裕美
		内科二診 (2202) 午前		米田 勉	矢野 幸洋	三木 真理	新中 学
		内科二診 (2202) 午後			里見 明俊		
		内科三診 (2203)	玄山 宗到	北田 清悟	難波 良信	橋本 尚子	香川 浩之
	呼吸器内科四診 (2210)	*中澤 幸恵 *三木 真理 4週に1回	*前倉 亮治 *好村 研二	*松井 秀記 *玄山 宗到	*木村 裕美 4週に1回 *三木 啓資	*藤川 健弥、 *北田 清悟 *横田 総一郎	
2212	神経内科	神経内科一診	松村 剛	藤村 晴俊	佐古田 三郎	井上 貴美子	齊藤 利雄
		神経内科二診	安井久美子	遠藤 卓行	猪山 昭徳	藤村 晴俊	豊岡 圭子
		神経内科三診	*遠藤 卓行 *森 千晃	*松村 剛 *齊藤 利雄	森 千晃	山寺 みさき	*安井 久美子 *斎藤 朋子
		神経内科 (午後)		筋ジス外来		筋ジス外来	斎藤 朋子 木村 紀久
2200	すくみ足外来	内科三診 (2203)	佐古田 三郎 13:30～				
2200	息切れ外来	息切れ外来 (2215)	三木 啓資	立石 善隆	前倉 亮治	好村 研二	松井 秀記
2207	呼吸器外科	呼吸器外科一診 (2208)	前田 元	前田元(初診) 9:00～10:00	前田 元		竹内 幸康
		呼吸器外科二診 (2209)	桃實 徹		林 明男		大瀬 尚子
		整形外科 (2211)			小林 良司		
2207	整形外科 リウマチ科	整形外科 (2211)	井本 一彦	井澤 一隆		井本 一彦	北田 祐紀
		呼吸器外科二診 (2209)		高樋 康一郎 (第1・3週予約のみ)		高樋 康一郎	
		呼吸器外科一診 (2208)		五藤 和樹		*井澤 一隆	
2255	リハビリ テーション科	リハビリテーション室		井上 貴美子	好村 研二 14:00～	井上 貴美子 14:00～	
2206	S A S 外来	呼吸器科一診 (2206)	*木村 紀久 *猪山 昭徳 14:00～				
2200	もの忘れ外来	神内二診	博野 信次 13:00～				

受付時間：8時30分～11時00分（初診は12時00分まで）

診療時間：9時00分～

※医師の都合により変更することがあります。

※*印は、隔週で交代します。

報 告

◎ 平成24年度第2回学術講演会

日 時：平成24年5月12日（土）P.M.2：00～4：00

会 場：ホテルアイボリー 茜の間

演 題：「わかりやすい超音波診断法

－心エコー図の読み方、撮り方を中心に－」

講 師：香川大学医学部附属病院 院長・総合診療部教授、

日本超音波医学会理事長 千田 彰一 先生

座 長：豊中市医師会 学術生涯教育委員会委員 福永 恵 先生

共 催：（一社）豊中市医師会、MSD（株）

出席者は62名でした。

（檀上）

【講演要旨】

超音波は、人間の可聴域上限である2万Hz以上の音波で、指向性が高く、音響インピーダンスの異なる2つの物質の界面で反射する性質を持つ。この性質を医学的画像診断に応用したのが超音波診断法であり、形態診断と機能診断が可能である。さらに、ドップラー効果を応用すると、血流計測や圧格差の推定が可能となり、特にリアルタイムに動的診断が必要な心疾患の診断、機能評価には有用である。心エコー図（Doppler-echocardiography）の撮像には主として扇形の探触子を肋間にあて、左室長軸像を描出し、次に探触子を90度回転させて短軸像を描出する。心臓弁膜疾患では、弁口面積を計測し、カラードプラー法で逆流の有無やその程度を知る。心室或いは心房中隔欠損は、カラードプラー法で欠損孔からの血流が診断される。虚血性心疾患では、B-mode法で左室壁運動を評価し、M-mode法による駆出率計測により心機能を評価する。収縮不全による心不全は駆出率の低下が見られる一方、拡張不全による心不全は、E/E'によって診断されるが、BNP値や身体的特徴なども加味して総合診断する必要がある。

超音波診断法は、安全かつ非侵襲的に繰り返し検査が可能であり、心疾患の原因究明や治療方針の決定に有用である。Primary careの現場においては、心雑音を有する患者、心電図異常を指摘された患者、不整脈のある患者、心肥大を指摘された患者、高血圧・脂質異常症・糖尿病など動脈硬化の危険因子を有する患者に対して積極的に施行されるべきである。現在、strain(歪み)の計測の応用、

Contrast Harmony Imaging、レーザードプラーやMRI、PETなどによる血流表示などの実用化も進められている。

(福永)

◎ 平成24年度第2回三師会健康教育小委員会

日 時：平成24年5月11日（金）P.M.1：30～

場 所：豊中市医師会 第1会議室

出席者：(医師会より) 野井、行岡、木村（好）、村上、西井

内 容：①ポスター、チラシについて

②駐車場、駐輪場の使用範囲について

③催し物について

④搬入、人員について

⑤配置図について

⑥アンケートについて

⑦携帯電話について

⑧その他

(西井)

◎ 豊中市医師会眼科医会総会および学術研究会

平成24年4月28日午後4時より、千里阪急ホテル東館2階で平成24年度豊中市眼科医会総会を行いました。次いで千寿製薬より新しい緑内障点眼薬アイファガン®の説明があり、薬効についての質問もよせられました。午後5時から研究会を行いました。まず市立豊中病院眼科に新着任の佐柳香織先生より強度近視の代表的な合併症、近視性脈絡膜新生血管と近視性黄斑分離症についてOCT所見を中心に症例報告をして頂きました。次いで特別講演は、京都府立医大眼科講師の外園千恵先生より「全身疾患治療による角膜障害と眼科治療薬による角膜障害」という演題で講演して頂きました。Stevens-Johnson症候群の重症型の中毒性表皮壊死融解症での眼の障害は、いかに早くステロイドが投与され、炎症を抑えての上皮幹細胞の残存が予後を左右する事がよく解りました。いつものように質疑応答が活発にありました。講演後には情報交換会が行われました。参加者は、20名でした。

(川上)

◎ 平成24年度整形外科医会春季学術講演会

日 時：平成24年 5月12日（土）P.M.4：00～

場 所：千里阪急ホテル 仙寿の間

参加者：73名

講演1：変わりゆく骨折治療 ～治療戦略のパラダイムシフト～

演者 星が丘厚生年金病院 整形外科部長 中瀬 尚長 先生

講演2：骨密度・骨質同時改善薬としての週1回テリパラチド製剤の有用性

— 骨質評価に基づくテーラーメイド治療の実際 —

演者 東京慈恵会医科大学 整形外科 准教授 斉藤 充 先生

今回は、演者と演題に恵まれ、また協賛メーカーの尽力もあり、多数参加してもらい、かなり盛況でした。

講演1は、最新の骨折治療法を中心に、内容の濃い講義でした。骨折治療法なんか、あまり変化していないと考えていると時代遅れになります。もちろん、ご存知の方も多いと思いますが、簡単に述べますと、以前の内固定はAOプレートにより、骨膜をはがし強固に固定していましたが、その行為自体が骨癒合を遅延させるということで（これは以前から言われていました）、現在はLCP locking compression plate固定で骨膜を剥がさず固定します。さらに、皮切も最小にして、プレートを皮下から骨表面に沿って通した後にスクリュー固定することも行われています。MIPO低侵襲骨接合と言われています。開放骨折には、初期は創外固定し感染の危険が去った時点で内固定します。創外固定器具の進歩により、固定角度を事前にインターネット上で計算してくれるという優れたものです。

小児の骨折の見逃しには注意が必要です。特に成長線部の骨折は成長とともに変形を来とし、後で問題を生じます。X線でS-HⅡと思われても、実はⅣ型で、手術が必要なケースがあります。MRIで診断可能です。また、X線で骨折を認めない場合でも、腫脹疼痛が強い場合は、まず4方向撮影し、状況によりCT撮影が必要になります。小児骨端部の骨折は後に変形を来すため十分な注意を要します。S-HⅠ型で33%、Ⅳ型で64%成長障害を残します。肋骨骨折と硬膜外血腫を伴う子供は虐待の可能性が強く疑われ、報告義務があります。

骨折の保存治療に関し、喫煙、DM、腎不全、過度の飲酒は骨癒合を遅らせます。PTHは骨癒合を促進しますので、高齢者骨粗鬆症の患者の骨折時には、ケースによって使用を考慮しても良いようです。超音波骨癒合機器は毎日同じ時間に行うのが良いそうです。

講演2の斎藤先生の話では、骨粗鬆症に対する最新の知見をわかりやすく解説していただきました。

骨強度には骨密度以外に骨質が重要であると近年言われていますが、斎藤先生はその方面の研究のパイオニアです。骨強度には骨密度7割、骨質3割関与しています。骨密度が高くても骨折しやすいケースは過体重、動脈硬化、DM、高脂血症があります。骨質はコラーゲン繊維間を結合する架橋が関与します。ビルの鉄筋に相当します。架橋は成熟架橋と老化架橋があり、老化（悪玉）架橋が増えると、骨強度は低下します。酸化ストレス、糖化反応は悪玉架橋を増やします。骨質評価のマーカーとして、ペントシジン、ホモシステインの測定が有用です。将来保険適応になる可能性があります。年齢、BMD低値、尿中ペントシジン高値は椎体高度圧潰変形の因子です。

（藤田（秀））

メディカル・トピックス

肩の痛みのお話

独立行政法人国立病院機構 刀根山病院

整形外科 五藤 和樹

日本肩関節学会は1974年10月に徳島で世界に先駆けて開催されました。自分と同じ誕生年で偶然に運命？を感じますが、本年で第39回を迎えます。2009年度の肩関節学会での手術アンケートの調査では、1年間で肩関節の手術件数は18,153件でありました。そのうち約52%が鏡視下手術で行われており、1997年実施のアンケートと比較すると約8倍と、この10年間で肩の鏡視下手術は急速に増加しております。関節鏡検査はわが国の高木（1918）によって生まれた検査法であり、この分野の日本の大先輩方の多大なる功績がうかがえます。

肩関節の日常診療でみかけるものには、五十肩あるいは凍結肩ともよばれる、肩関節の特発性（一次性）拘縮があります。成人の2～5%が罹患するとも言われている一般的な疾患で、病気としては炎症期、拘縮期、寛解期に分けられます。拘縮の原因としては、患者の多くが肩の前面、特に上方に痛みを訴える事や、手術所見で、同部にあたる烏口上腕靭帯や腱板疎部の変性、瘢痕化を認める報告から、同部の関与が推測されていますが、様々な報告があり、病変は明確にはされていません。治療は保存療法が原則で、炎症の強い時期には肩甲上腕関節内にステロイドの注射を行い除痛に努めます。Joint distentionと呼ばれる、関節造影の際に側挙内旋などの肢位で関節内圧を増強させ、閉塞または癒着している肩甲下滑液包を拡大させる方法が効果を示す事もあります。そして理学療法による可動域訓練を行います。エコーを用いてC5,C6神経根をブロックした上で非観血的授動術を行う施設もあります。このような保存治療で一般的には良好な結果が得られる事が多いですが、なおも、日常生活動作に障害を認める高度な拘縮に対しては、関節包の周りをぐるりと一周切離する、関節鏡視下関節包解離術が行われたりもしています。

また、同じく肩の疼痛、日常動作制限をきたす疾患に腱板障害があります。肩関節の全手術件数の43%を占め、外傷の35%を超えて今や最も多く手術されている領域であります。上腕骨骨頭につく4つの筋腱部を腱板とよび、同部の断裂に起因するものです。加齢とともに断裂サイズが拡大し、進行すると手術成績が悪くなる事から早期手術を推奨する意見も多いですが、一定の見解は得られていません。保存療法に関しては、10年以上経過した腱板断裂の保存治療例の約9割は痛みが全くないかわずかな痛みを感じるのみで、約7割は日常生活動作に制限を認めなかつ

た。ただし初診時年齢の若いものには痛みや症状が残る傾向にあるとの報告があります。腱板断裂に対する手術治療に関しては、数多くの良好な成績が報告されています。ですが、広範囲断裂の中には、なんとか縫い付けてもすぐに断裂してしまう事もあり、一次修復不能例としてパッチを当てたり、別の筋腱を移行したりと様々な工夫がされていますが、成績は劣ります。腱板断裂後関節症（cuff tear arthropathy）という骨頭が上方化し軟骨変性の進行がみられる病態まで進行すると、治療に難渋します。そこで、腱板断裂に対しては、保存療法を行いつつも、機を逸せず、適切な時期に手術加療を行う事が一番大切であると考えます。長引く肩の痛みでお困りではありませんか？